

地域に根ざした薬剤師・薬局・養成事業（報告）

資料9

（千葉県地域医療介護総合確保基金事業）

1. 概要

地域包括ケアシステムを構築する中で、薬剤師・薬局が果たすべき役割を確立し、さらなる連携の推進を目指すため、市町村や看護関係者等との連携会議を実施。

※第1回（9月） 薬剤師が抱える現在の課題と他職種連携の課題抽出

第2回（11月）今後の取組みの検討（薬剤師に向けた取組み、市民啓発、薬薬連携）

第3回（1月） 取組み状況進捗共有、次年度に向けた取組みの整理

【★構成員★】 柏市薬剤師会 5 名 ， 病院薬剤師 3 名 ， 訪問看護ステーション 3 名
地域包括支援センター 1 名 ， 柏市 2 名

2. 連携会議の成果

(1) 現状と課題の把握

- ・ 市民や他職種に薬剤師の専門性、役割について十分認識されていない。
- ・ 地域の薬剤師が在宅医療に取り組むことに対して精神的な負担感がある、在宅医療に取り組む上でどのようにしたらよいか具体的な方法がわからない。
- ・ 病院薬剤師と薬局薬剤師との具体的な連携が不十分である。
- ・ 病院薬剤師が在宅生活のイメージが持てていない。
- ・ 他職種との連携が不十分であること。

(2) 今後の取組みの整理

①在宅医療の実地研修

在宅医療に対応している薬剤師が，未経験の薬剤師や病院薬剤師と 同行訪問し，在宅医療の現場を実践的に学ぶ機会を作る。

②ICTを活用した薬薬連携の促進

「薬剤師会のお部屋」を活用した在宅医療に関する情報の共有，病院薬剤部との連携推進を図る⇒病院薬剤部のICT登録増加

③他職種との連携強化

訪問看護師やケアマネジャー等の他職種との研修の機会や連携会議の継続により，さらに連携を深めていく。

★★★ 連携会議の参加者の感想 ★★★

【訪問看護師】

薬剤師の思いや実態を知り，お互いにするべきこと，協力し合うことのメリットを認識できた。医師・薬剤師・看護師のチームでの連携は必須であり，他職種も薬について気をつけること，工夫点等を学べると，いい形での支援につながると思う。

【地域包括支援センター】

より深く薬剤師について知ることができ，薬剤師が感じている多職種連携の課題を知る機会になった。他職種の成功したスキルやノウハウを活かし，患者はもとより他職種への助言者としての役割の発揮を期待したい。

【病院薬剤師】

他職種が何を必要としているのかを理解することが地域連携に必要な視点であることが理解できた。薬薬連携を深めていくことだけでなく，在宅医療における他職種の業務や動きについても理解を深める必要があると感じた。